

第15回「同窓の集い」開催

詳細は4頁をご覧ください

隠居は毎日 日曜日 ^{わら} ^{たに} ^{さかえ} 藁谷 栄 (駒27)



第117号

2026年4月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日(祝日の場合は火曜日)の10:30~16:30のみ対応)

携帯電話から住所変更ができます。



住所変更専用
QRコード

以前「同窓の集い」で幹事をしてくださった藁谷栄さんの「数奇な人生」についてご寄稿いただきました。

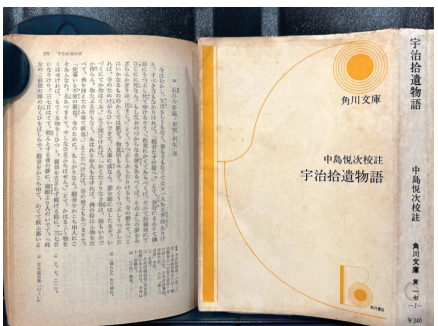


ケンブリッジ駅のパブでHazyIPAを飲む

毎日が日曜日の隠居ではありませんが、(思しき事言わぬは腹ふくるるわざ)というこゝで、松桜会会報の編集委員の某氏から原稿依頼があった時二つ返事で受けました。

この知己の某氏からは私の「数奇な人生」について書いてほしいとのお題をいただいております。モンゴルでの生活をはじめとする海外生活やインド生まれの亡命チベット人のカミさんとの出会いに「数奇なもの」を感じたようです。大学はモンゴル語専攻で、モ

ンゴルに留学し、その後専門調査員としてモンゴルの日本大使館に勤め、大阪にあるカシミヤ輸入をあつかう中小企業に勤めた後外務省に採用され、モンゴル以外にマレーシアとスリランカに勤務し、定年退職し三鷹に隠居と思ったら、カミさんの転勤に同行しイギリスのケンブリッジで主夫をして帰ってきました。「数奇な」経歴ではあると思います。



高校時代の愛読書、『宇治拾遺物語』
わらしべ長者の話は7巻5話

大学受験の時、どの学部・学科を受験するか皆悩んだことだと思います。私の場合、数学が

「数奇な人生」をおくった先達としてはわらしべ長者がいまですが、私にとつてのわらしべはモンゴル語を専攻したことにあつかもありません。

英語ができなかった私ですが、モンゴル語についてはよく勉強し良くできました。ただ、興味は語学ではなくモンゴルの遊牧にあり、この興味に應える学問はないかと考え、文化人類学が社会人類学を専攻してみようと考えました。そこで別の大学の大学院を狙って4年ほどトライしましたが、勉強不足で果たせずモンゴル語専攻として大学院にのこり、さらにモンゴル政府の国費留学生として2年間ウランバートルで学生暮らしをするようになりました。

その時に出会ったのがうちのカミさんで寮が同じでした。彼女は医科大学の学生でモンゴル語とロシア語の研修期間と学部

の6年間で8年弱ウランバートルに滞在することになります。ただ、私の方は留学期間の2年間を終えて日本に帰ることになり、修士論文に悩んでいる時に、大学の先生から外務省がモンゴルの日本大使館で専門調査員を募集しているのので応募しないかと打診をうけ、飛びついたところ採用され修士修了とともにウランバートルに戻り、専門調査員として3年間契約ベースで働きました。



スリランカ・ゴルフフェイスホテル
家から徒歩5分のビーチバーにて

この間、カミさんとウランバートルにある結婚宮殿とよばれる婚姻登録所で結婚式を挙げ、専門調査員の契約終了後は、モンゴルで知り合ったカシミヤ原料商社の社長に頼みこみウランバートル駐在員になりました。

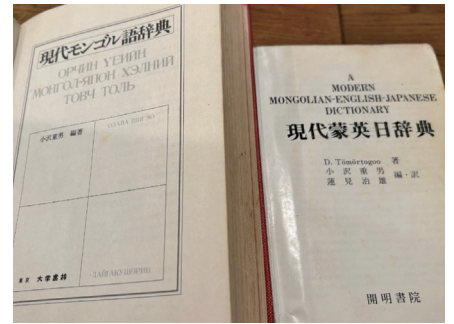
カミさんの卒業後、会社のある大阪に住むことになりました。この頃、外務省のモンゴル語専門家4人ほど相次いで外務省

から出てしまい、私に本採用の口がかりません。ただ、当時の法律で外務省員の配偶者は日本国籍に限るとあり、カミさんが日本に帰化する手続きが終わり次第採用するとの段取りになりました。

インド生まれの亡命チベット人であるカミさんは無国籍者で日本へ帰化する申請はなかなか手ごわいものでしたが、それをこなしているうちに私は役人が勤まるかもしれないと思うようになりました。

カミさんの日本国籍取得後、私は外務省採用となりモンゴル赴任が決まりカミさんと一緒にモンゴル生活をおくることになりました。38才の春のことでした。この時の滞在は5年半にわたります。

東京に戻っての外務省勤務では、モンゴルとの関係、ODA関連の仕事と「数奇」ではなく勤勉実直な役人として仕事をしました。



辞書の訳語付けと校正を手伝い、バイト代として本をもらう

そんな中、私が日本外交に貢献したと唯一自慢に思っている「数奇な」仕事は、外務省研修所勤務の時に、大使・総領事の海外赴任前研修として日本酒と日本ワインの講義と利き酒を始めたことで、現在もしつかり続いています。私の方は今でも日本酒と日本ワインをよく飲みます。

外務省にいと海外赴任の人事がまわってきます。赴任先の希望を出せる仕組みにはなっていない、私の場合モンゴル以外のアジアの国にも住んでみるかと、東南アジア、南アジアと書いていました。そのためかマレーシア大使館、スリランカ大使館の勤務の口が回ってきました。

マレーシアとの縁は、直近の所属課で東南アジアに対するODAの技術協力を担当していた

ことくらいでしたが、寒いモンゴルとは違う熱帯の国での暮らしを楽しみました。マンガーは今でも好物です。

次に、スリランカ勤務の口が回ってきました。スリランカについて知っていることといえば、亀の子たわしの原料のパームがスリランカ産だというくらいでした。

スリランカ勤務が決まったころ、カミさんの方は14年務めた会社を辞めスリランカに同行し学業に励むことになりました。2年半余りの間、通信教育とスクーリングを合わせイギリスの大学のマスターをとり、私が日本に帰るころには再就職活動を開始していました。

日本帰国後、私は定年退職まへの10か月、ODA広報の仕事を楽しみました。ODA関連の仕事は、カシミヤ商社のモン

ゴル駐在をしていた頃に某商社のODA事業参入のエンジニアトになって動いたところからの第2の専門でした。

一方カミさんは日本企業に就職が決まり、一回転職しその会社のイギリス・ケンブリッジでのポストをみつけ赴任することになりました。

定年退職後のコロナ禍の中、私はリモートで働くカミさんを支え家で家事をし、ケンブリッジでも引き続き掃除・洗濯・料理とこまめにこなしました。帰国後は毎日が日曜日の隠居です。

さて、私の「数奇な人生」を駆け足でなぞってみて、なぜそうなったのかわからないことだらけでした。私はわらしべ長者のような富豪にはなれませんが、毎日日曜日を手に入れました。

藁谷栄氏 プロフィール

1975年	駒場高校卒業
1976～83年	東京外国語大学モンゴル語学科
1983～87年	東京外国語大学大学院アジア第一言語(モンゴル語専攻)
1983～85年	モンゴル国立大学留学
1987～90年	在モンゴル大使館専門調査員
1990～94年	株大阪カシミヤ勤務
1990～92年	同社ウランバートル事務所
1994～2020年	外務省勤務
1994～99年	在モンゴル大使館
1999～02年	中国課
2002～05年	技術協力課
2005～08年	在マレーシア大使館
2008～10年	在モンゴル大使館
2010～11年	外務省研修所
2011～14年	中国・モンゴル第1課
2014～16年	開発協力総括課
2016～19年	在スリランカ大使館
2019～20年	国際協力局政策課

新入会員から



駒78-1ホーム 荒井新
私はバスケットボール部に所属し、全力で部活動に取り組みながら、文武両道を目指して過ごしてきました。

部活で疲れ果て、帰りの電車内で単語帳を持ったまま寝てしまい、江戸川を越えて千葉まで行ってしまったこともありましたが、限りある時間を有効に活用することで部活動と学業を両立することが出来ました。

私の高校生活を支えてくれたのは、熱く指導して下さった顧問の先生方、受験前に一対一で演習して下さいました先生方、一緒に行事を楽しんだクラスメイト、そして楽しい時も辛い時も多くの時間を共に過ごした仲間たちの存在です。多くの方々の支えで充実した高校生活を送ることができ、感謝しています。

駒場高校での生活を通して、日々を大切に積み重ね、自分の力を少しずつ伸ばしていく姿勢を身に付けられたと感じています。新しい環境でも前向きに挑戦し、成長していきたいと思っています。



駒78-3ホーム 菊池来花
コロナも明けて、通常通りの生活を送れるようになって入学した3年前。今までの生活とは大きく変わり、コロナによる制約も原則による制約も減り、自由な高校生活が始まりました。しかし、現実には甘くなく、部活と勉強の両立で何度も心が折れそうになりました。

♪ 駒場松桜会 神野優子ヴァイオリンコンサート報告 (2025年11月29日) ♪



この日は寒い朝でしたが、お昼頃にはコートもいらなくらい暖かくなりました。ほぼ満員の場内は、これから始まる演奏への期待が高まっています。定刻になり、駒場松桜会の馬淵伸子理事長より挨拶がありました。神野優子さん(駒17)は理事長と同期であり、同じくヴァイオリンの宮林陽子さんは神野さんの双子のお姉さんとのこと。ピアノ伴奏は神野さんのご主人でピアニスト、故神野明氏のお弟子さんであった平田侑さんが務められました。



第一部、紫と青の華やかなおじさいの花のようなドレスの神野さんは、まずクライスラーを二曲演奏なさいました。有名な「ベートーヴェンの主題によるロンドー」と「美しきロスマリン」です。優雅な音色が会場全体を包み込みます。次にシューベルトの「ヴァイオリンとピアノのためのソナチネ」は濃紺の美しいドレスの平田さんとの二重奏です。二人が同じ旋律で始まるこの曲は、各楽章ごとの二人の掛け合いが静かに、また美しく響きます。第一部の最後はバッハの「二つのヴァイオリンのための協奏曲」で、宮林さんも加わりました。藤色のふわっとしたドレスにライトを受けています。二つのヴァイオリンが代わるがわる旋律と通奏低音を交代して演奏される心地よさに、聴いているこちらも熱を帯びて、大きく拍手を送りました。

第二部は「ヨーロッパ名曲の旅」と題して、さまざまな小品が三人で奏でられました。バッハ／グノーの「アヴェ・

マリア」、シューベルトの「セレナーデ」、サンサーンスの「白鳥」、カルデイツクの「つれなき心」、ブラームスの「ハンガリー舞曲第一番」、アルベニスの「タンゴ」、エルガーの「愛の挨拶」、そして最後はチャイコフスキーの「花のワルツ」。どれも有名な曲ですが、ヴァイオリンのデユオは耳に新しく、大変興味深く聴きました。第二部が終わり、アンコールにレハールの「メリー・ウイドウのワルツ」とブラームスの「ハンガリー舞曲第六番」を演奏してくださいました。お二人のポウイングが一緒に上下する時もあり、目でも耳でも楽しいアンコールとなりました。神野さんとゲストお二方の美しい演奏に身をゆだね、素敵な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。角田 やよい(駒29)

次回「松桜会コンサート」の予定

「4人の声楽家による重唱演奏会」

2026年11月28日(土)

於 東京オペラシティ
リサイタルホール
14:00 開演

出演 阿部 純氏(駒21) 他

◆都駒祭の報告

母校ではコロナ禍に対応しつつ、9月6日(土)・7日(日)に開催されました。

松桜会は仰光寮を公開することで参加しました。老朽化が進んでおり、1階のみを公開しましたが、2日間703名の来場者がありました。

◆松桜会コンサート 出演者募集!

2027年度以降も東京オペラシティリサイタルホールにて松桜会コンサートを開催する予定です。

つきましては、出演ご希望の方を募集いたします。ご希望の方は松桜会事務局までお問い合わせください。

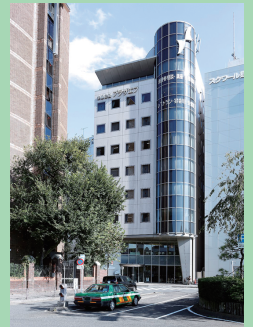


駒78 保健科 福井 太陽

た。どんなに勉強してもテスト順位は下がる一方で、部活もケガが多く思うように練習ができないことがほとんどでした。それでも、体育祭や文化祭などを通じてクラスの人たちと協力して行事を成功させるという経験をして、駒場高校に入って本当に良かったと思うようになりました。大変ではあったけれど、充実した駒場高校での3年間は私にとって最高の思い出です。私たちを支えてくださった先生、駒78の仲間、先輩、後輩、そして家族には心から感謝しています。本当にありがとうございます。周りの方々への感謝を忘れずに進学後も頑張りたいと思います。

の行事を経験しました。どの行事も当日の結果以上に、そこに至るまでの時間が印象に残っています。練習が思うように進まなかったり、意見がぶつかる中で、行事は少しずつ形になっていきました。その過程で気づけたのは、目立つ役割だけでなく、周囲を支える多くの人の存在です。先生方の助言や、仲間同士のさりげない心配りが重なって、行事は成り立っていました。私自身もその一部として関わりながら、集団の中で役割を果たすことの意味を学びました。行事そのものの成功はもちろんですが、それが成り立つ過程を経験できたことに、この三年間の価値があったと感じています。私たちを支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに、これからの道を歩んでいきたいです。

第15回「同窓の集い」



本年も昨年同様の形式で開催いたします。
同窓の皆さまの楽しい交流の場となりますように…
どうぞお誘いあわせの上、ご参加ください！

日時：2026年6月13日(土)
午後2時～4時(受付 1時30分～)
会場：主婦会館プラザエフ 7階「カトレア」

最寄り駅：JR 四ツ谷駅(麴町口から徒歩1分)
東京メトロ南北線 四ツ谷駅(3番出口から徒歩3分)
丸の内線 四ツ谷駅(1番出口から徒歩3分)

**ビュッフェスタイル
フリードリンク！**

(20歳未満はソフトドリンクですよ)

会費：5,000円(新入会員(駒78)は無料！)

会報に同封の振込用紙に金額をご記入の上、出来るだけ事前にお振込みください。
(当日のお支払いも受け付けます)

★申込方法：メール・FAX・はがきにて各自以下の内容をご記入の上、お申し込みください。

氏名・卒業回(第三 回)または(駒 回)

郵便番号・住所・携帯または固定電話番号

★申込締切：4月末日(会場のスペースの都合上、先着120名様で締め切らせていただきます。)

コチロンを一緒に踊りませんか？

コチロンは17世紀にフランスで誕生、庶民のフォークダンスだったものが宮廷ダンスとなり、18～19世紀にヨーロッパからアメリカへ、更に文明開化の明治鹿鳴館舞踊として日本に登場。府立第三高等女学校でも体育の一貫として取り入れられました。駒場高校では平成元年頃まで体育の授業で実施されていたダンスで、今では日本で唯一駒場高校のみで松桜会会員により踊り継がれています。8人で一組の美しいスクエアダンスです。

毎月1回の練習会(第三月曜日11:00～12:30)に是非ご参加ください！ 初心者大歓迎です！

参加者のひと言感想文

まずは参加に一步踏み出してみましょう。
コチロンは体と頭の体操です。 駒7 倉地真知子
米寿を迎えた私も、コチロンのメロディーで、
七十歳若返えられます!! 駒8 岡 道子
コチロンのメロディーに乗り、楽しく動けて、
良い運動に。八十代の脚腰強化にも有効!
駒12 菅生 庸子

体育祭で在校生、卒業生と一緒に踊る日を
夢見ています。 駒12 伊藤美佐子
何度やっても覚えられないけれど、音楽に合
せて踊ることは楽しいです。 駒14 賀茂 教子
第三の先輩の方々のいない今、伝統あるコチロン
を駒場の代で消滅させる訳にはいきません。
駒14 米田 貴子

半世紀以上過ぎて、またコチロンを踊ることが
出来て本当に嬉しいです。 駒14 田口 恭子

八十歳の壁を元気に越えたいと、楽しみつ
つ踊っています。
「軽やかに宮廷ダンス風薫る」 駒17 西尾 弘子
コチロンの輪で繋がる同窓の絆。脳トレにも
なります。 駒24 志村 文子

頭を使って踊るコチロン！年齢を越えて楽し
ます。毎回楽しんでます。 駒24 木暮 徳子
コチロンは体力よりも記憶力。古希の挑
戦 駒27 松井 裕子
楽しく続く。

コチロンの会に入れて頂き半年余り。毎回笑
いっぱいで楽しいです。 駒28 宮川 悦子

初めての参加で緊張しましたが、先輩方が優しく
教えて下さり、楽しく踊れました。 駒30 窪田 国子



「同窓の集い」にて披露



練習会での練習風景

松桜会講座のお知らせ(令和8年度上期) **4/10(金)** 締切(必着)

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

- ①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名
- ⑤会員一卒業回 教職員一所属 PTA会員一お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 (一財)駒場松桜会事務局

☆申込後のキャンセルは、開講日の2週間前からは受講料をいただきますことをご了承ください。

A 講座

講師 染谷 倅子 (駒17)

明治学院大学社会学部・同大学院修士課程修了。東京都老人総合研究所社会学部研究助手。米国Bryn Marw.College Ph.D取得。鹿兒島国際大学、淑徳大学、東京女子大学定年退職。Malaysia Institute of Aging 客員教授。現在はACAP (Active Aging Consortium Asia and Pacific) 執行部。

人口高齢化と社会変化：超高齢社会に生きる

- 第1回 世界の人口高齢化と日本
- 第2回 超高齢社会の現状と課題
- 第3回 人生100年時代の社会政策と個人の対応

5/9(土)・5/23(土)・6/6(土)
10:30 ~ 12:00

定員：20名
受講料：1,500円
会場：母校東館和室

B 講座

企画
講座部会

J R 京浜東北線の駅から歩く路地めぐり —東十条・赤羽駅—

1. 東十条駅から：自然と歴史が調和するエリアを渋谷栄一に縁のある飛鳥山公園を目指して歩く。起伏に富んだやや健脚向けのコース。
2. 赤羽駅から：“千円でべろべろに酔える”と云う「せんべろ街」を抜けて、のどかな土手歩き、「荒川・隅田川を学ぶ」社会科見学。寺社仏閣はほんの付け足し。

5/16(土)・6/20(土)
10:00 駅出発
12:00 解散予定

諸般の情勢により、日程の変更や中止になる場合もありますので、ご了承ください。

定員：30名
受講料：1,500円
(含 資料代、保険料)

※前回まで申込者数が定員を超えても参加者にお手伝いをお願いし、ご希望に添うようにしてきました。しかし講座部員不足の現状を鑑み、今回は参加者数を抽選などの方法で制限させていただきますことをご承知おきください。なお、初回に欠席ご予約の方は、お申し込みをご遠慮ください。ご理解の程お願いいたします。

参加者の声

「心の在り方」身体からのアプローチを受講して
高齢になってくると、日々体調に心も行動も左右され、つくづく心身一体と感じていた時に、松桜会報でこの講座を見つけ受講しました。

心と身体を持つ一個人が複数となると社会となり、その中の関係で行動が違ってくる。例えば、空の電車のどの座席から乗客が座っていくかを観察すると、端の席から座り、真ん中に座る知らない人と距離をおく。知り合いとは隣に座る。また、十九人乗りのエレベーターに出来るだけ詰め込むと三十八人乗れたが、互いに顔見知りとなるとそんなには乗れない実験など興味深かったです。

最後の回にはNHKテレビで放送された健康体操トップ3のプリントをいただきました。これは「元気に動ける身体を一生保つための体操」で、第3位片足立ち(バランス)、第2位カールレイズ(かかとの上げ下げでふくらはぎを鍛える)、第1位スクワット(体幹を鍛える)です。三つの体操を毎日続けて姿勢を整え、足腰の筋肉を鍛えて、心身健康な生活を送りましょうという石井康智先生からのアドバイスをいただいて、感謝しております。ありがとうございました。

賀茂 教子(旧姓 田所) (駒14)

「JR中央・総武線の駅から歩く路地めぐり」に参加して
さて、何を書こうかと前号前々号の会報を読み直しました。「さすが、駒場の後輩方」と納得。私が書くことは：
今期の第一回路地めぐりは、阿佐ヶ谷駅集合、高円寺駅解散。長年都内に住みながら、知らないことばかり。地名は「阿佐ヶ谷」、駅名は「阿佐ヶ谷」とは初めて知りました。

第二回は荻窪駅集合解散。昔は別荘地として人気だったとか。今までは神社を訪れることが多かったのですが、今回の路地めぐりでは、著名人の住まわれた家や土地を中心に散策しました。天候に恵まれた日もそうでない日もいろいろですが、傘ががちよこになるほどの強風と大雨の中、誰が雨女なの？と言いがら歩いた日もありました。普段は立ち入ることができない場所にたまたま入ることができたり、散策中、地元の方にどういうグループですか？と聞かれたり。

何はともあれ、この講座を企画運営してくださる方々のご苦労には大変頭が下がります。お蔭様で、参加者は決められた時刻に集合、気の合う仲間とおしゃべりしながら(先輩・後輩との交流も)、気楽に、ゆっくりと歩くだけ。何と素晴らしい講座ではありませんか！

健脚でなくても大丈夫。解散時刻は、ちようどお昼時。心地よい疲れの中、普段より美味しいランチを仲間と一緒に楽しむのもあり。もちろん、ご家族の待つご自宅に急ぐもよし。

皆様もお友達を誘って「路地めぐり」に参加してみませんか？いつでもウェルカムです。でも、希望者が増えて、担当の方からは嬉しい悲鳴も聞こえてきそう？

大熊 恵子(旧姓 伊藤) (駒19)